

開講専攻	授業科目	担当教員	必修 選択 の別	単位数
看護学 ----- 1 Semester 月・1	発達心理学	齋藤 秀光	必修	1
授業題目	生涯発達			
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>人間は心理社会的に誕生（胎児期も含め）から老年期までの生涯をかけて発達する存在であることを理解する。</p> <p>はじめに生涯発達について講義し、その後に各時期の発達や問題について講義する。講義内容は心理社会的な面だけでなく、知覚や認知の発達などにも触れ、乳幼児期および児童・青年期の問題については、児童精神科医（非常勤講師）による講義を予定している。講義は、適宜プリントなどを配布して理解を深めてもらい、精神科看護、学校精神保健、地域精神保健の基礎を固める。</p>				
授業計画				
回	内 容	講師		
第1回	生涯発達	齋藤 秀光		
第2回	乳幼児期の問題（1）	舩越 俊一		
第3回	乳幼児期の問題（2）	舩越 俊一		
第4回	胎児期の発達	齋藤 秀光		
第5回	乳児期の発達	齋藤 秀光		
第6回	幼児期の発達	齋藤 秀光		
第7回	児童期の発達	齋藤 秀光		
第8回	青年期の発達	齋藤 秀光		
第9回	児童・青年期の問題（不登校、ひきこもり）	林 みづ穂		
第10回	性同一性障害	齋藤 秀光		
第11回	成人期の発達	齋藤 秀光		
第12回	児童虐待	齋藤 秀光		
第13回	職場での問題	齋藤 秀光		
第14回	老年期の発達	齋藤 秀光		
成績評価の方法及び基準				
<p>期末試験を重視するが、講義中に課したレポートを加味して総合的に評価する。 （期末試験：80％程度、レポート：20％程度）</p>				
教科書・参考書				
<p>参考書：「発達心理学 - これからの保育を考える - 」古川 聡・福田由紀 編著（丸善株式会社） 参考書：「ライフサイクルからみた発達の基礎」平山 諭・鈴木隆男 編著（ミネルヴァ書房）</p>				